



# 横浜冷凍株式会社

証券コード2874

－「人」「もの」「地球」に優しい食品流通のエキスパート－

 **yokorei**



# 本日の目次

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

# 1

## ヨコレイの概要

YOKOREI OVERVIEW

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

創業以来 **75** 年間

**日本の食の安全・安心をつないできました**

『ヨコレイ』の名で親しんでいただいている横浜冷凍株式会社は1948年創業

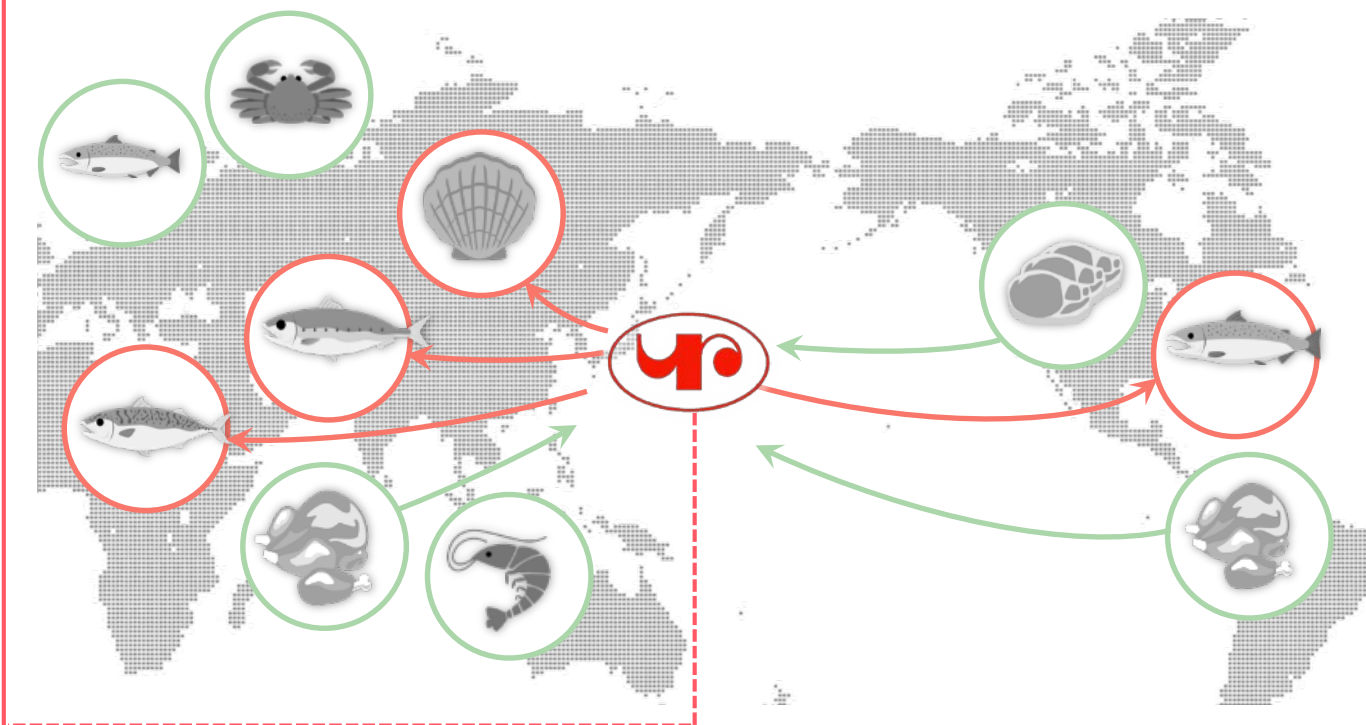
戦後の食料難の時に、貴重なたんぱく源となる魚やエビなどの水産物を、水揚げされた横浜から全国の卸売事業者に販売する事業をスタート。また、新鮮な水産物を保管するために必須となる冷蔵倉庫の事業も、ほぼ同時に開始



# 全国、全世界の産地から食材を仕入れ国内外へ流通

横浜から始まった事業は日本全国、そして世界へ展開収容能力100万トン超

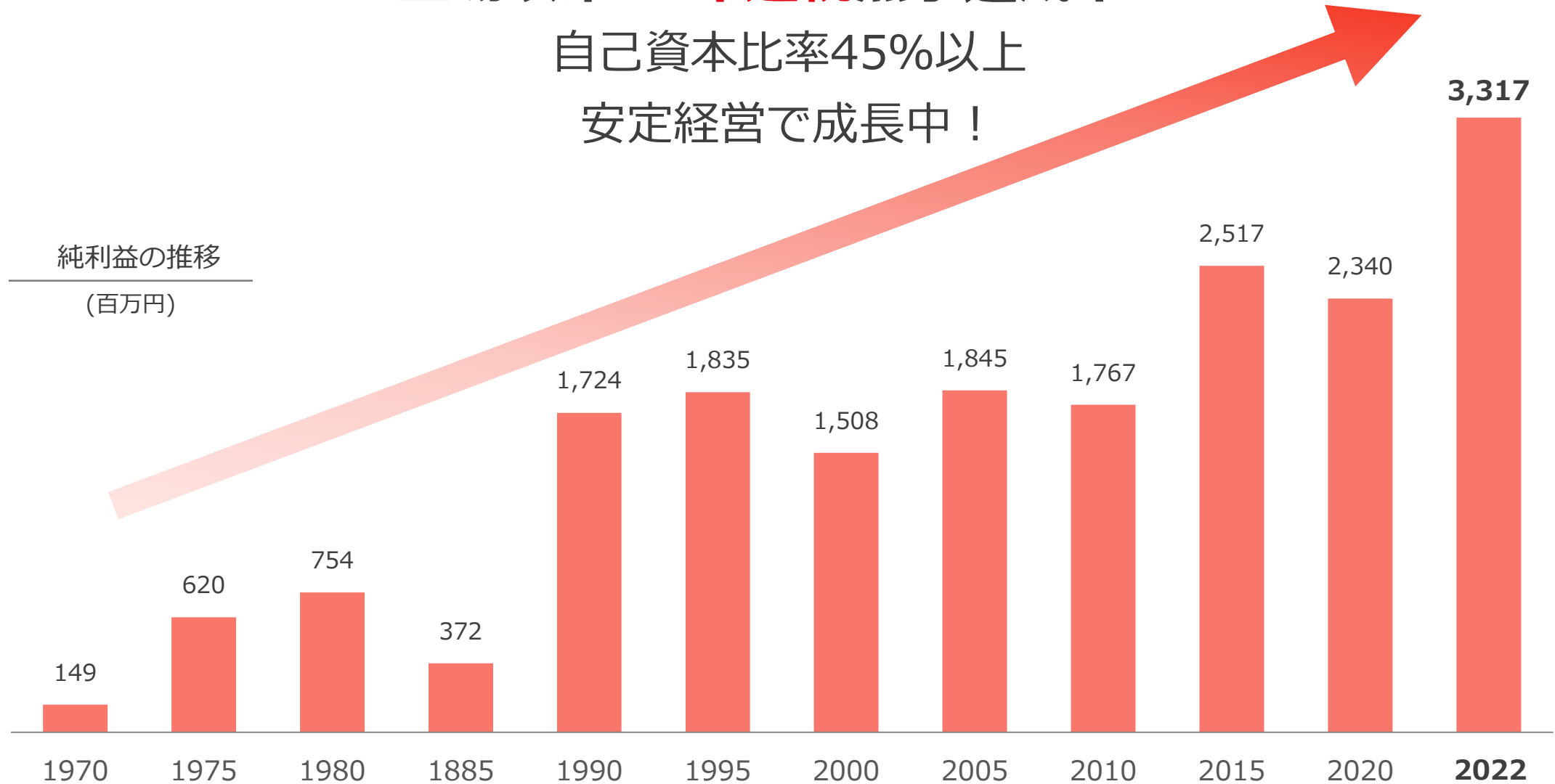
**国内トップクラス規模**へ成長



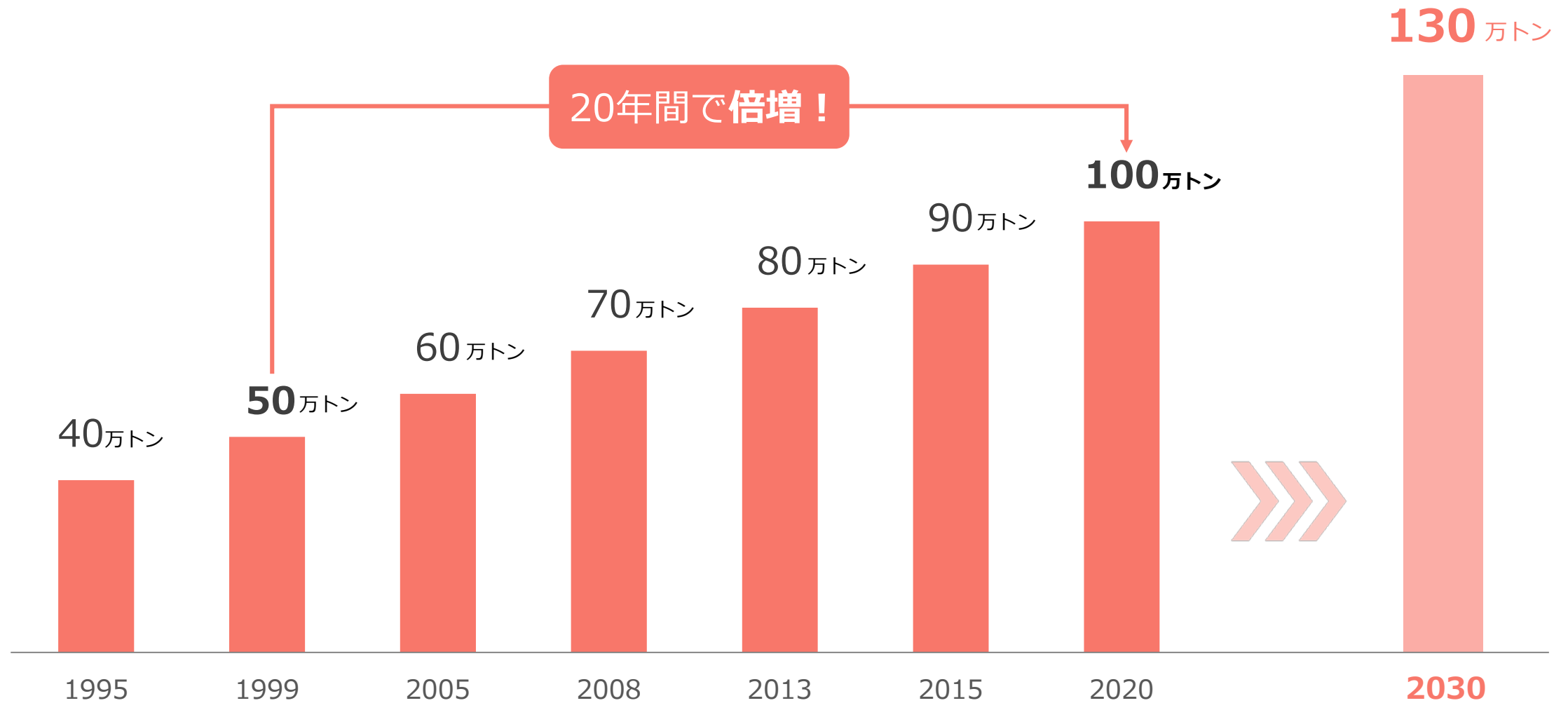
# 上場以来**61年連続**黒字達成中！

自己資本比率45%以上

安定経営で成長中！



## 事業規模**拡大中!**



## 全国の冷蔵倉庫拠点

現在  
50カ所

- 北海道・東北 10カ所
- 圏央 7カ所
- 京浜 7カ所
- 中京・東海 6カ所
- 阪神 5カ所
- 九州 15カ所



業界でも  
ハイペースな  
拠点拡大

2020→2030  
新設目標10拠点以上

## 2021年



2021年2月  
福岡ISLANDCITY LC



2021年7月  
気仙沼SS II

## 2023年



2023年3月  
ちばりサーチパークLC

## 2024年



2024年1月  
恵庭スマートLC  
(仮称)



2024年1月  
夢洲第二LC  
(仮称)



2024年3月  
箱崎LC  
(仮称)

## 2025年



2025年4月  
十勝第四LC  
(仮称)



2025年春  
岡山LC  
(仮称)

LC: 物流センター  
SS: ソーティングスポット



環境配慮No.1を強みとした低温物流事業の更なる強化と持続可能な食と地域づくりの実践を強みにした事業展開で持続可能な社会の実現と企業価値向上の両立を目指します。

## 中期経営計画

2021.9月期～2023.9月期

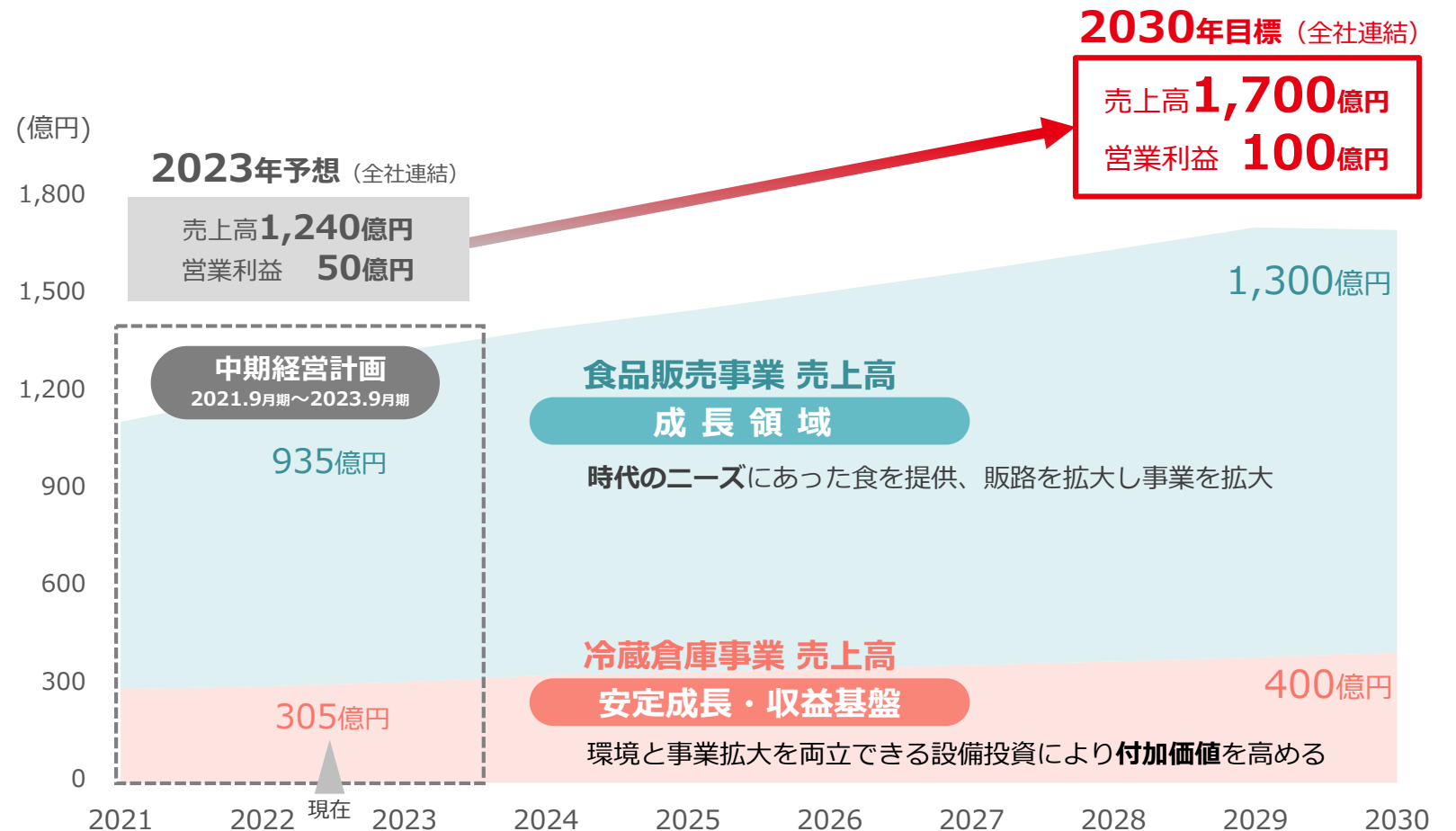
### 重点施策

- 1.収益性向上のための構造改革
- 2.事業品\*1の販売拡大
- 3.独自商品の開発
- 4.販売チャネルの開発
- 5.海外における販路拡大

\*1 (サーモン・エビ・凍結加工品・養鰻など)

### 重点施策

- 1.環境配慮型物流センターの拡充
- 2.ヨコレイ品質の深化
- 3.国内事業の新たな展開
- 4.海外事業の拡張



動画をご覧ください

<https://www.yokorei.co.jp/about/movie/>



## 2 大事業 食品流通のエキスパート

お客様の大切な貨物を守り、世界中の食材を安定供給

### 冷蔵倉庫事業



- ✓ 水産・畜産・農産、冷凍食品など多種多様な食品を保管
- ✓ 全国に50箇所、タイに5箇所の冷蔵倉庫

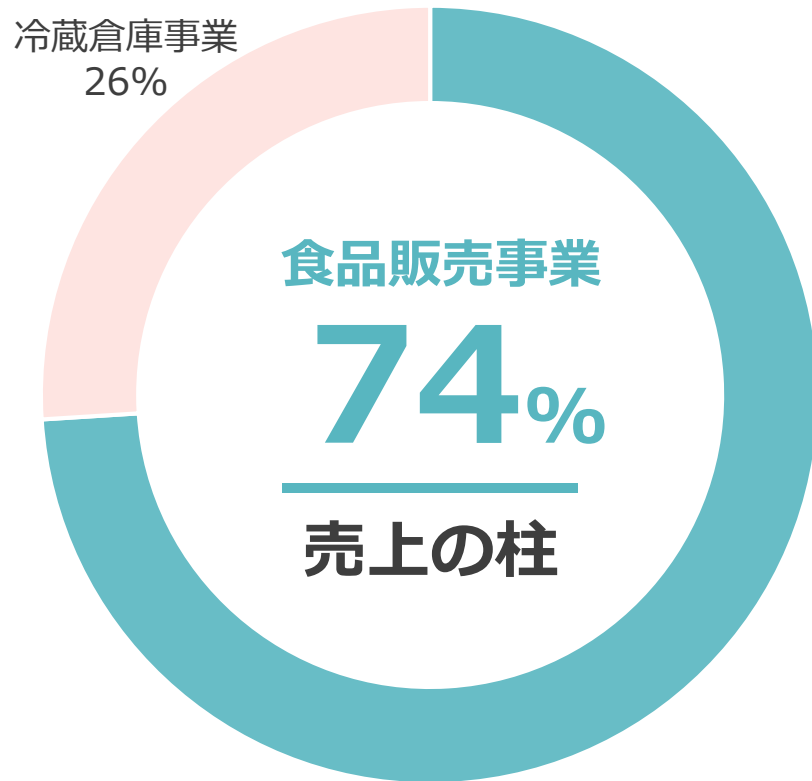
### 食品販売事業



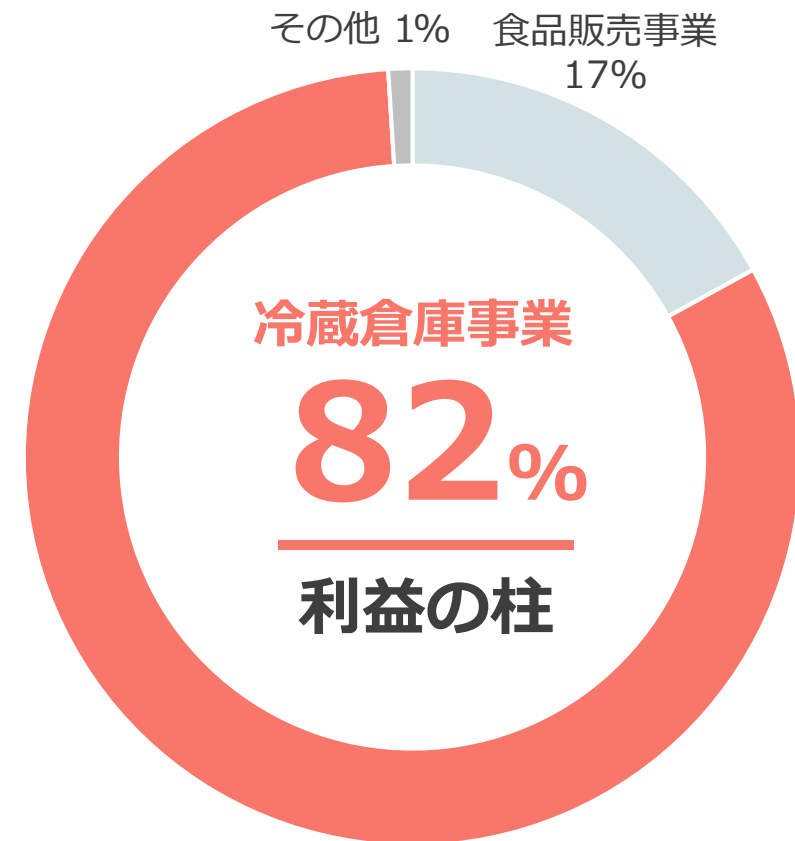
- ✓ 全国の産地から食材を仕入れ、国内外へ流通。海外の食材も日本へお届けしています

2022年9月期

売上高 **1,152**億円



営業利益 **42**億円



## 食の安全・安心を生む **「ヨコレイ品質」**

最新鋭の設備と人の手により実現する「ヨコレイ品質」で  
安全・安心な「食のインフラ」を提供し続けます



### 冷蔵倉庫事業

- 冷風による冷却むら・冷凍焼けが起こりにくい  
**「自然対流冷却方式」を大手で唯一採用**
- 長期間保管しても品質が落ちない設備
- 商品知識とノウハウ、高い技術力を蓄積、継承し、お預かりした貨物を最適に保管

### 食品販売事業

- 食卓に安全・安心をお届けする品質管理
- 国内各地の自社拠点で、**輸入と輸出・保管・仕分・凍結・販売などを一元管理**し、トレーサビリティを確保

## 環境を破壊しない 自然冷媒による冷却システム

業界でもいち早く冷媒をフロンから、  
環境にやさしい自然冷媒（NH<sub>3</sub>、CO<sub>2</sub>）  
へ切り替え

業界トップクラス



## 太陽光発電システム によりCO<sub>2</sub>を削減

冷蔵倉庫で太陽光発電システムが稼働



物流センターの屋上に設置された太陽光発電  
モジュール

## 省エネな冷蔵倉庫

業界平均より電力使用が  
**8%** 少ない

収容能力1000トンあたり  
の電気の使用量

業界平均 : 162 MWh  
当社 : **149** MWh

日本冷蔵倉庫協会  
冷蔵倉庫実態調査 2022年版 より

✓ 自然環境・地球にやさしい物流を実現      ✓ 電気高騰の影響が業界平均よりも少ない

温室効果ガスのサプライチェーン排出量を意識する顧客に選ばれる冷凍倉庫へ

# 2

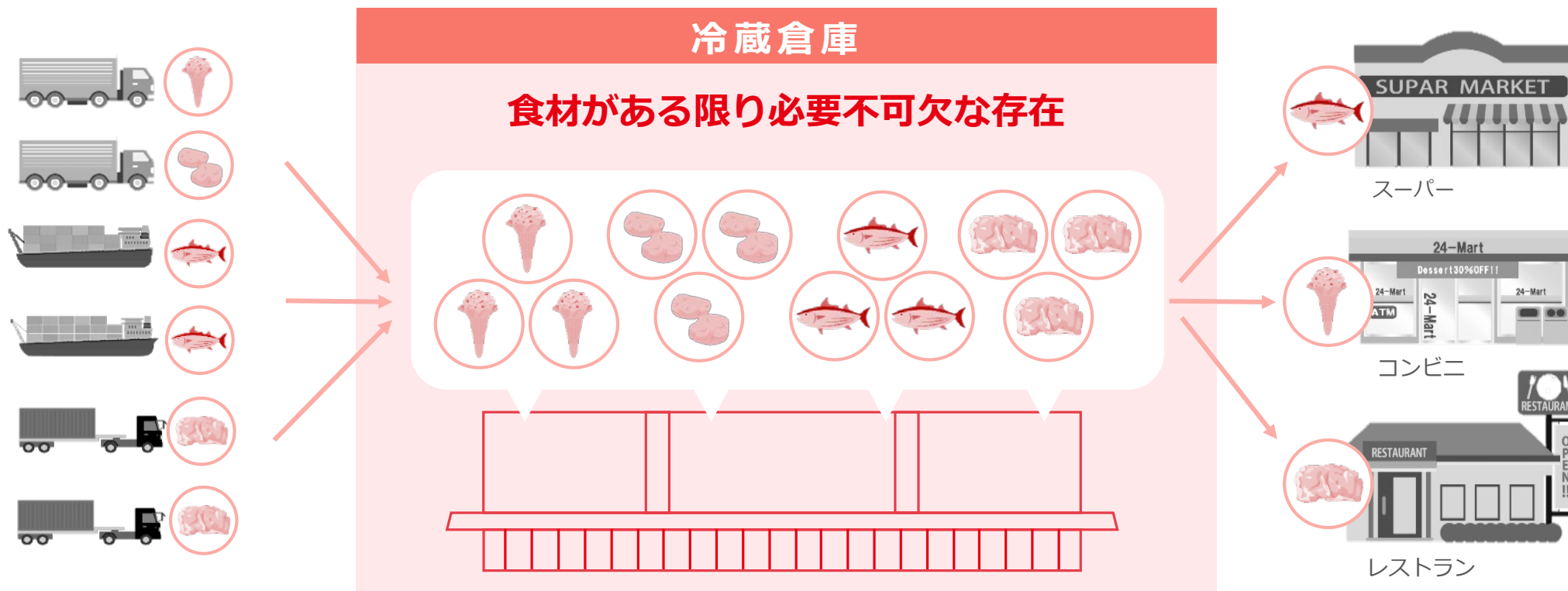
## 冷蔵倉庫事業

REFRIGERATED WAREHOUSING BUSINESS

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

## 冷蔵倉庫は、電気、水道、ガス、電話、と同じように生活を支える「インフラ」

冷蔵倉庫は、世界や日本各地から集まった食品を必要な時に必要な量を供給するための一時的な保管場所







国内



収容能力  
約**97**万トン



## 国内シェア

- |           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 1位        | ニチレイグループ    | 約9%        |
| <b>2位</b> | <b>ヨコレイ</b> | <b>約5%</b> |
| 3位        | マルハグループ     | 約3%        |

専業では当社が  
トップシェア



タイ



収容能力  
約**10**万トン



## 多種多様な取引先基盤

### 主な取引先



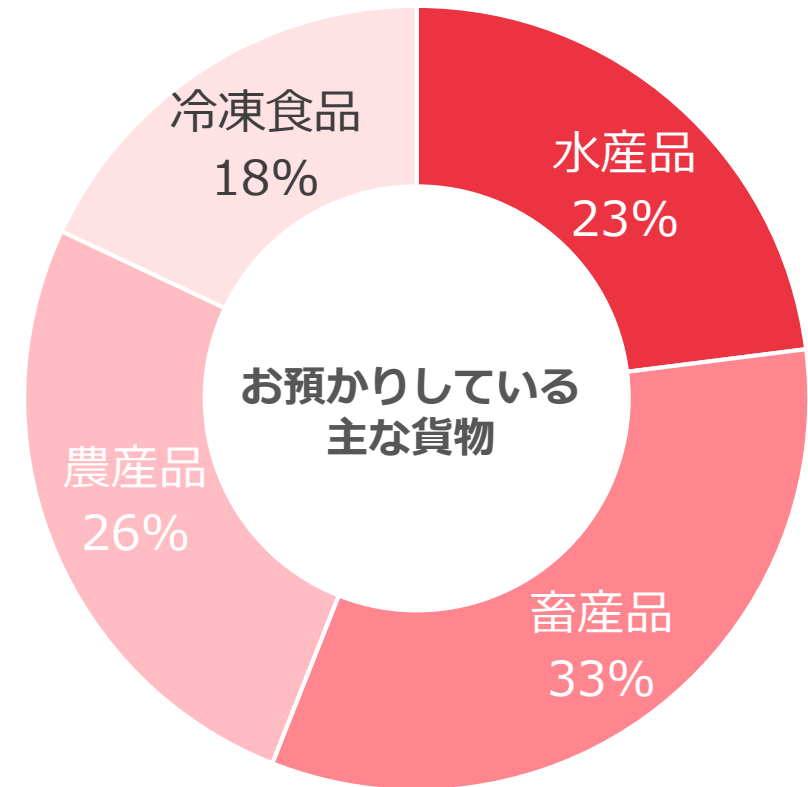
メーカー、商社、問屋など

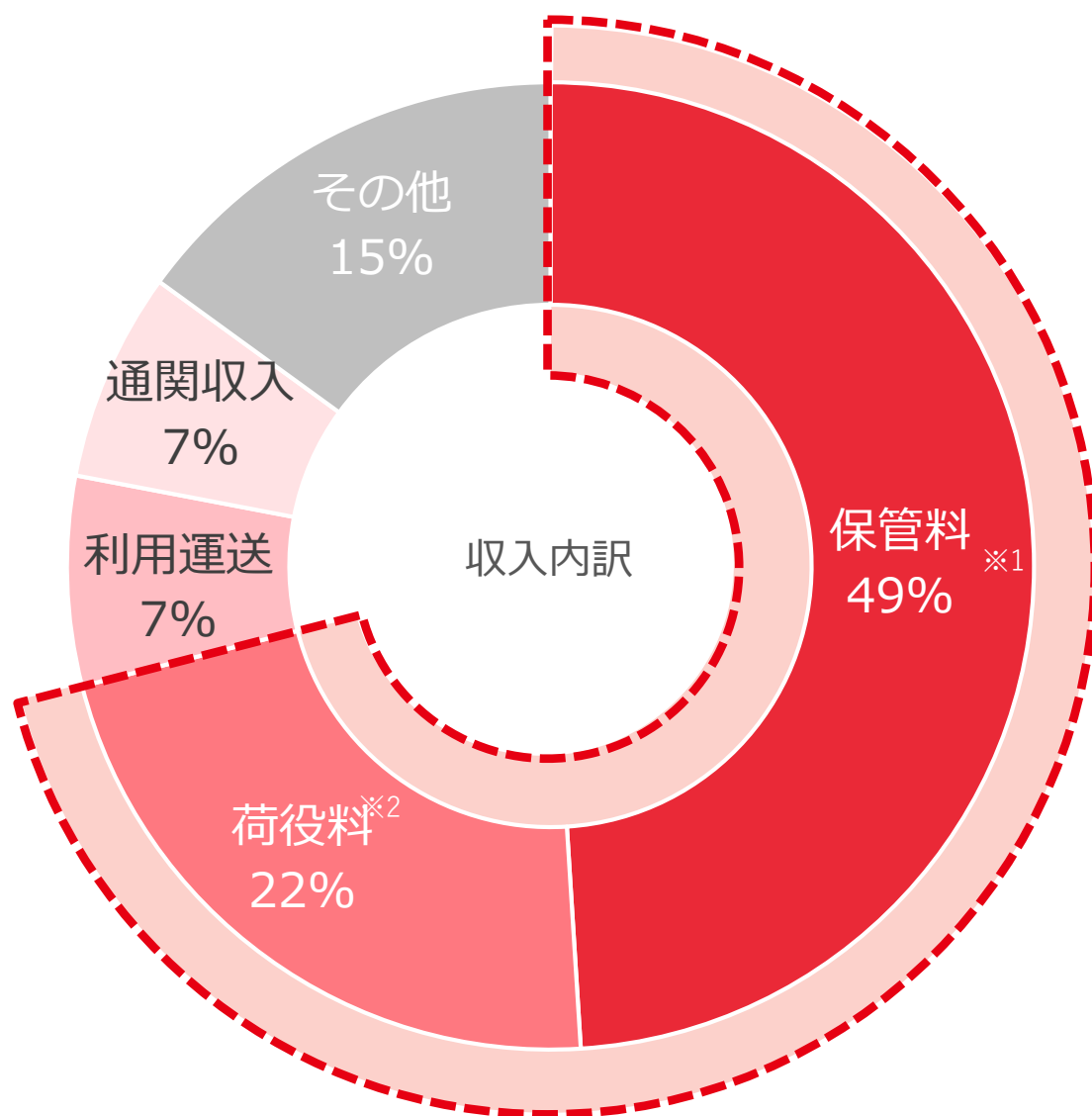
### 取引先数



**3,000社**以上

## 常に安定した需要がある食品が主体





保管料、荷役料の  
安定収入が約 **7割**

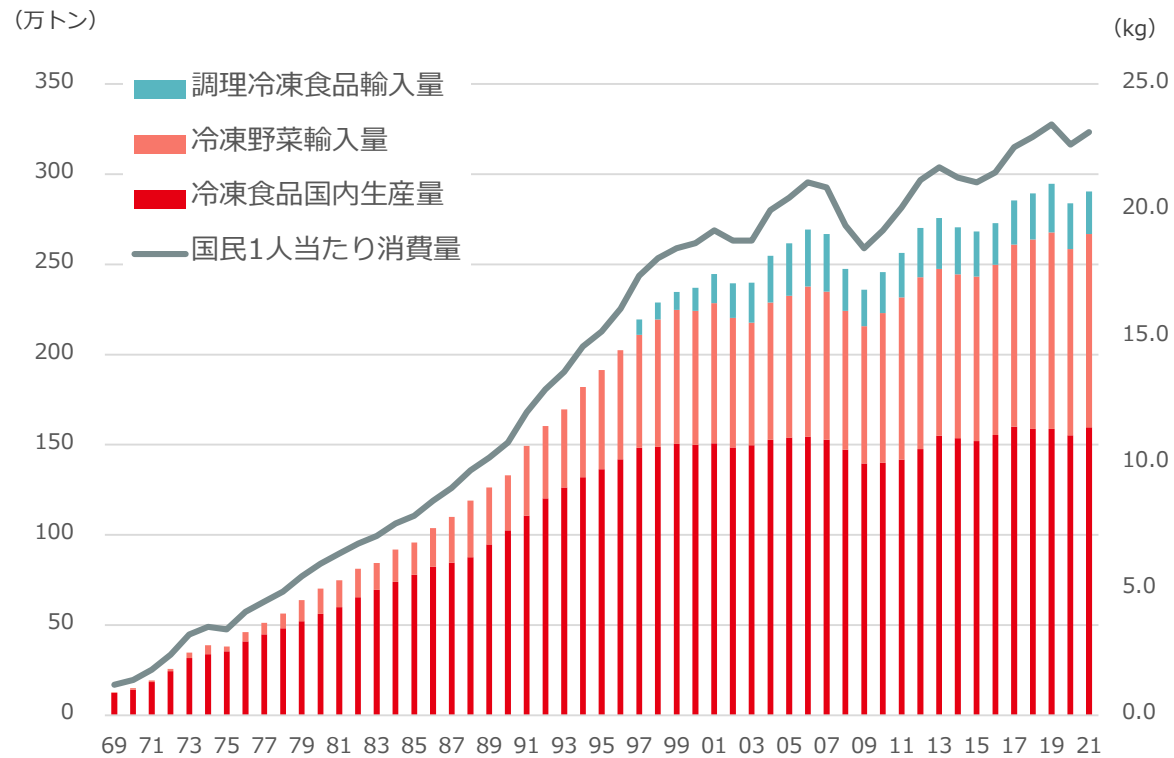
※2022年9月期決算数値より

- ※1 保管料  
貨物の種別、量、期間によって決まる  
料金体系
- ※2 荷役料  
貨物の入出庫作業にかかる手数料

# 市場環境① 冷凍食品の消費量推移

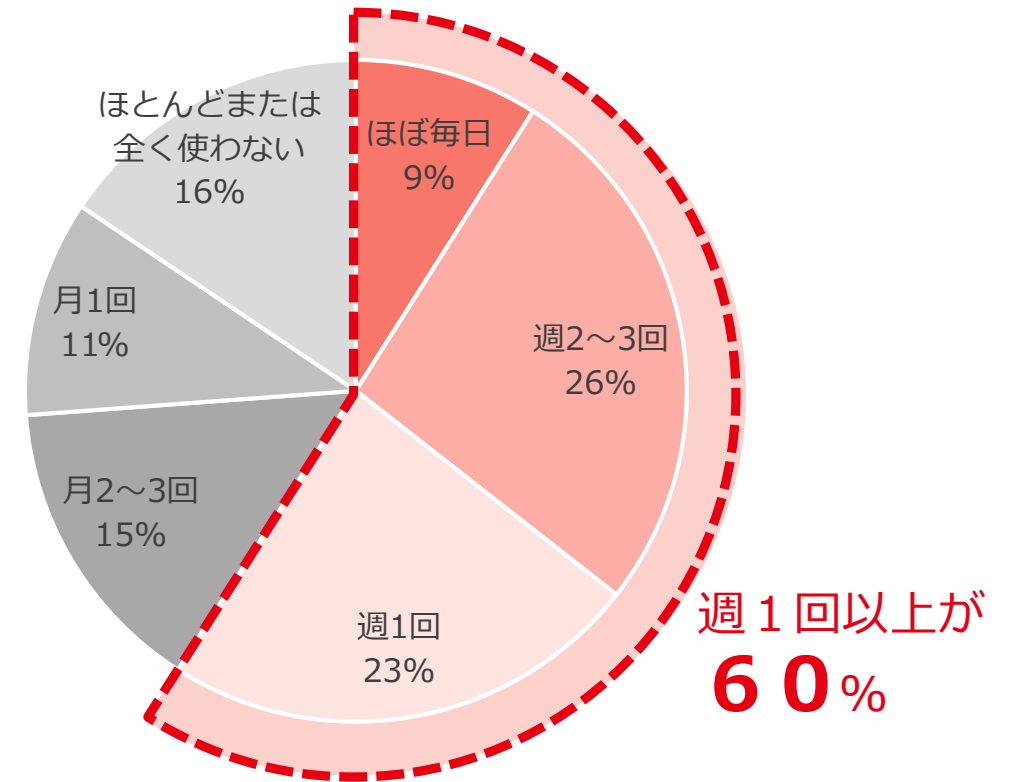
冷凍食品の消費量は、2015年以降順調に増加

冷凍食品国内消費量の推移



※一般社団法人 日本冷凍食品協会 統計資料  
冷凍食品国内消費量の推移より

冷凍食品の利用頻度(2021年3月)



※日本冷凍食品協会「『冷凍食品の利用状況』実態調査」P.14図3を基にグラフを作成。  
調査対象は男性のみ

## より広いスペースと、貨物の種類や状態にあわせての適切な管理体制も重要になってくる

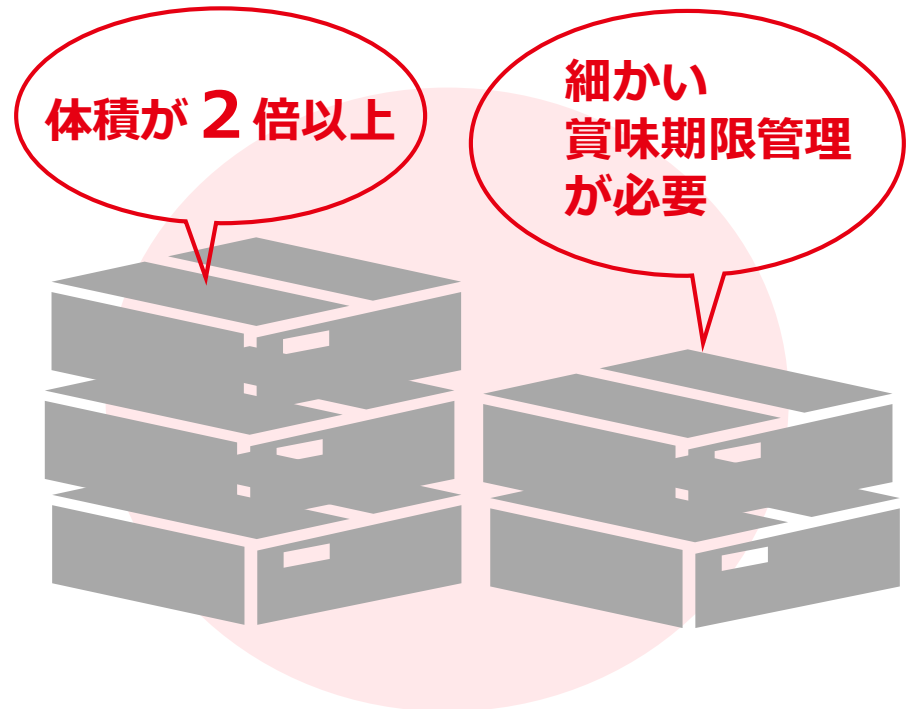
### 原料貨物

例 | ブラジル産鶏もも肉 12kg



### 冷凍食品

鶏のからあげ 12kg



## 業界の課題1

### 施設の老朽化により、施設の建て替えが必要

- ✓ 多額の建て替え建設コスト
- ✓ 建て替え用地不足

築40年超の冷蔵倉庫の割合

日本国内  
34%

東京地区  
45%

## 業界の課題2

### フロンガス製造終了による設備の切り替えが必要

- ✓ 冷媒切替コストは1棟あたり数億円

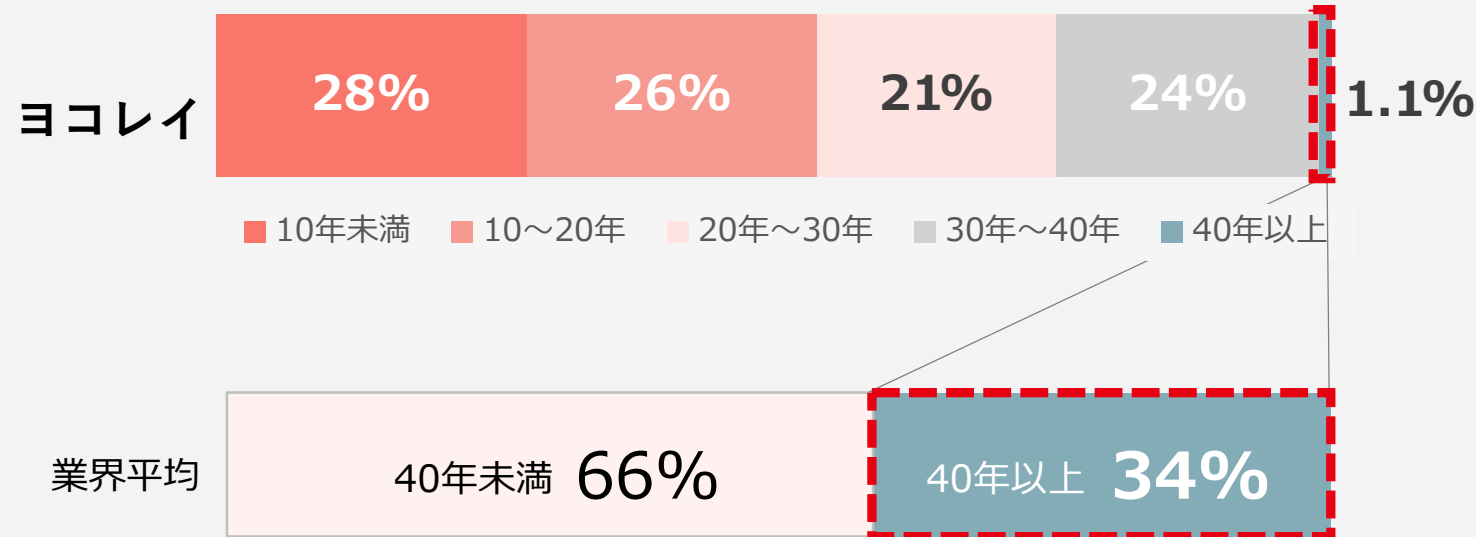
2020年に  
従来型  
フロンガスの  
製造終了



## 莫大な資金力が必要

設備の築年数分布 (\*1)

築40年以上はわずか**1.1%**  
 築20年以下の新しい冷蔵庫が**5割超**

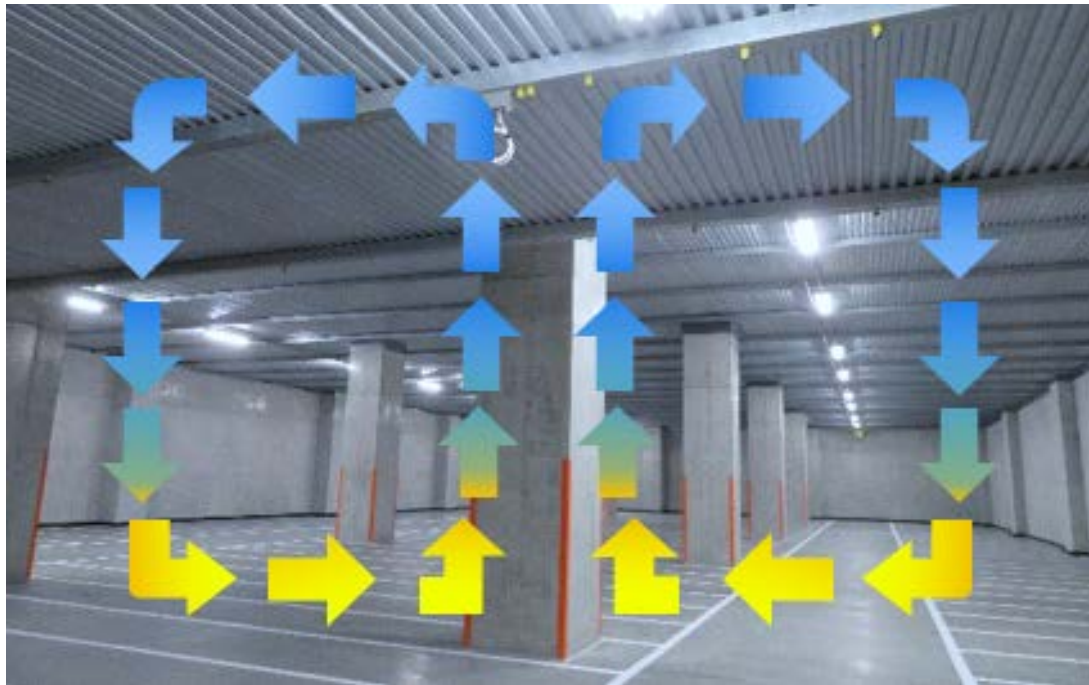


脱フロン化  
 (自然冷媒導入率)



\*1: ヨコレイは海外も含む、業界平均は国内のみ (2022年現在)

## 業界最新の自然対流の冷却方式



✓ 冷風による冷却むら・冷凍焼けが起こりにくい「**自然対流冷却方式**」を大手で唯一採用

✓ 長期間、高品質な保管が可能

## 自社社員によるオペレーション



✓ 倉庫内のオペレーションを自社社員が実施

✓ 蓄積された商品知識とノウハウ



## デバンパレタイズシステム (DPS)

- ✓ 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化
- ✓ 従来の半分以下の人員での作業が可能に



## トラック予約受付システム

- ✓ トラックの長時間待機問題の解決に向けた取り組み
- ✓ ホワイト物流推進の自主行動宣言

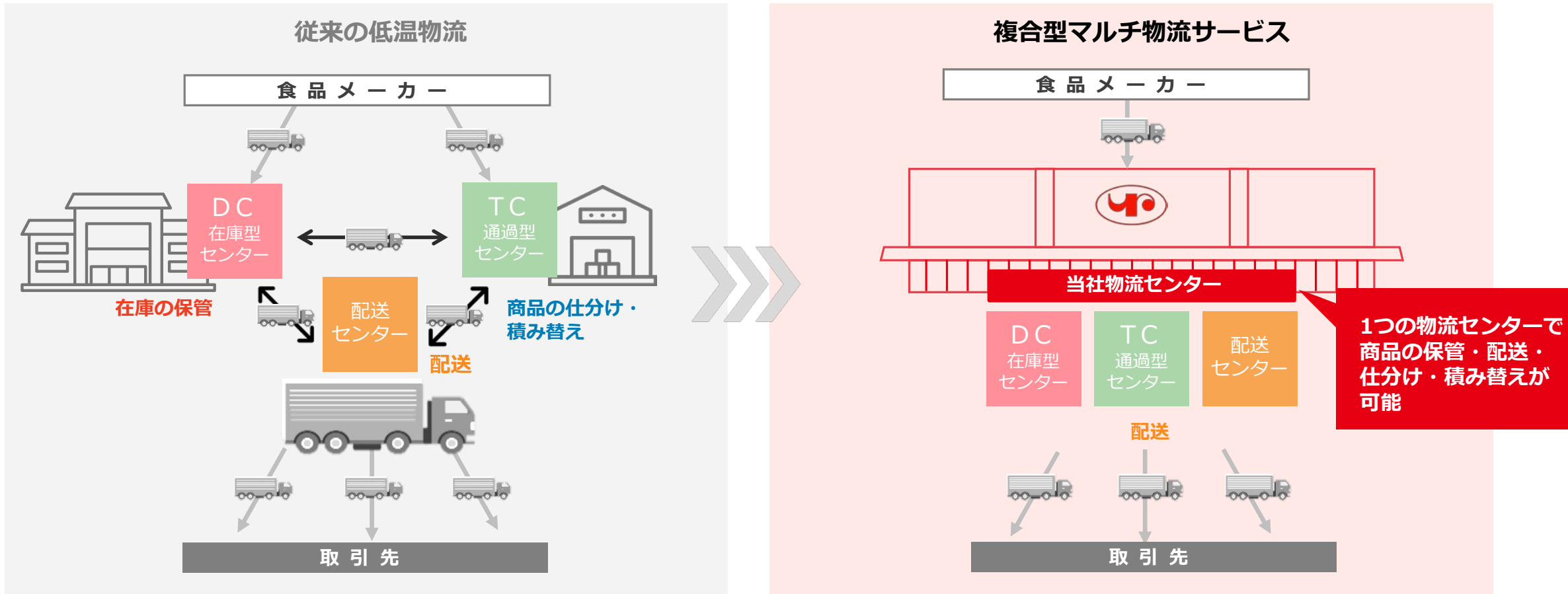


## カーゴナビゲーションシステム

- ✓ 入出庫作業を大幅に効率化
- ✓ 誰でも「短時間に」「迷わず」「正確な作業が行える」
- ✓ オンライン上でお客様の在庫を管理



冷凍食品の増加、ドライバー不足、環境問題への対応策となる「複合型マルチ物流サービス」施設の運営を開始



**付加価値を高め、顧客から選ばれる冷蔵倉庫へ進化**

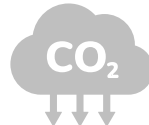
経済産業省および国土交通省が実施する「物流パートナーシップ優良事業者表彰」で『物流構造改革表彰』を受賞（2022年12月22日 表彰式）

## 食品業界における『卸センターにおける納品事業者の待機時間削減』という社会課題解決に向けた、パレチゼーションによる冷凍物流の高効率化



トラック  
手待ち時間

**9,184**時間/年削減



排出量

約**10%**削減



- ✓ 日本アクセス様と当社加須第二物流センターにて「フローズンマザーセンター」を設置し、関東エリア内の仕入機能を集約。
- ✓ 生産・販売計画を共有し、調達から納品に至る物流をパレット単位・車両単位での発注に置き換え、一貫パレチゼーション化を促すことで、積込・納品業務の効率化（トラック待機時間削減9,184時間/年）とそれに伴うCO<sub>2</sub>の削減(35.7t- CO<sub>2</sub>/年「10%削減」)を実現。

<https://www.yokorei.co.jp/news/detail.php?type=news&id=2AR2JDT>

国土交通省の物流総合効率化法「総合効率化計画」として認定された物流センターを展開

- ✓分散していた保管拠点を集約
- ✓トラック予約受付システムを導入

- ✓分散していた保管拠点を集約
- ✓トラック営業所を併設

## 東京羽田物流センター

認定：2018年2月認定



CO<sub>2</sub> 排出量 約**34%**削減

トラック 手待ち時間 約**90%**削減

## つくば物流センター

認定：2020年2月認定



CO<sub>2</sub> 排出量 約**23.3%**削減

トラック 手待ち時間 約**60%**削減

## 福岡ISLAND CITY 物流センター

認定：2020年12月認定



CO<sub>2</sub> 排出量 約**68%**削減

トラック 手待ち時間 約**70%**削減

## 横浜みらいサテライト

認定：2020年4月認定



CO<sub>2</sub> 排出量 約**41.2%**削減

トラック 手待ち時間 約**95%**削減

※削減パーセントは、当該物流センターが存在しなかった場合との比較

## ベトナムにおける子会社設立と冷蔵倉庫新設

- ベトナムのロンアン省ベンルック県のフーアンタン工業団地（PAT）に当社100%出資の現地法人を設立
- 3月15日に、同工業団地(PAT)内に冷蔵倉庫着工(2025年1月竣工予定)

ホーチミン市と、ベトナム南西部のメコンデルタ地区を  
繋ぐ物流拠点



▶▶▶ ベトナムで加工した水産品の保管、販売、流通、また、日本国内で水揚げされた輸出品の中継場所として、**冷蔵倉庫事業と食品販売事業とのシナジー効果**も期待

### ベトナム現地法人概要

会社名	日本語：ベトナムヨコレイ有限会社
代表者	代表取締役社長 関 晋也
設立	2023年3月3日
株主	横浜冷凍株式会社（100%出資）
事業内容	冷蔵倉庫業

### ベトナム冷蔵倉庫概要

収容能力	約45,000トン
主な設備	<ul style="list-style-type: none"><li>当社初の自動ラック設備</li><li>大容量の太陽光発電設備</li><li>電動式移動ラック設備</li><li>省エネ型自然冷媒冷凍機</li></ul>
工期	2023年3月～2025年1月予定

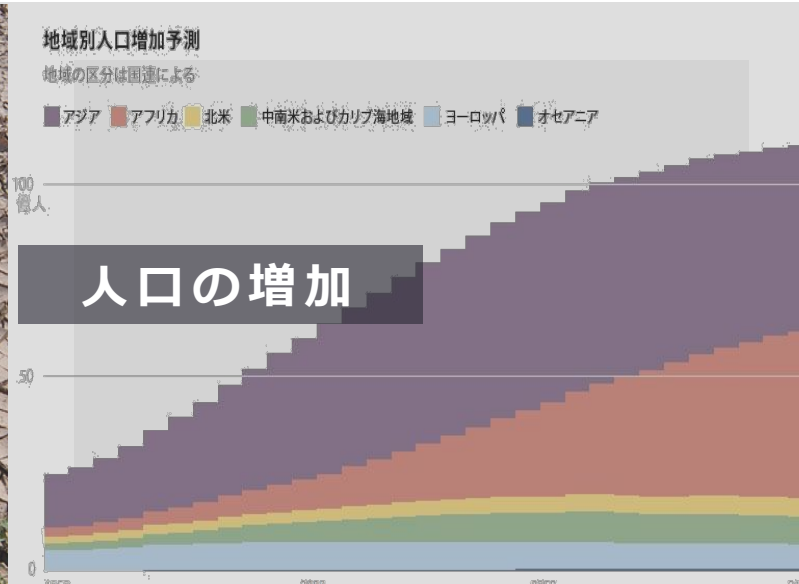
# 3

## 食品販売事業

FOOD SALES BUSINESS

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

## 食糧資源の確保に関する課題



## 事業機会

安定した食糧調達先の確保が今後の成長へのカギとなる

長年に渡り優良な産地を調査し、国内外の漁獲地・生産地へ進出

## 国内外で良品を見極める、ヨコレイの「目」



### 水産事業

- ✓ 東南アジア・南米のエビ、北欧のサーモンなどを、国内の加工メーカーや問屋に販売
- ✓ 国内のサバ、ホタテ、イワシなどの水産品を国内外に流通



### 畜産事業

- ✓ スペイン産のイベリコ豚やチリ産のポーク等、ポーク・チキン・ビーフなどの主要畜産品を北米・ブラジル・豪州などから調達



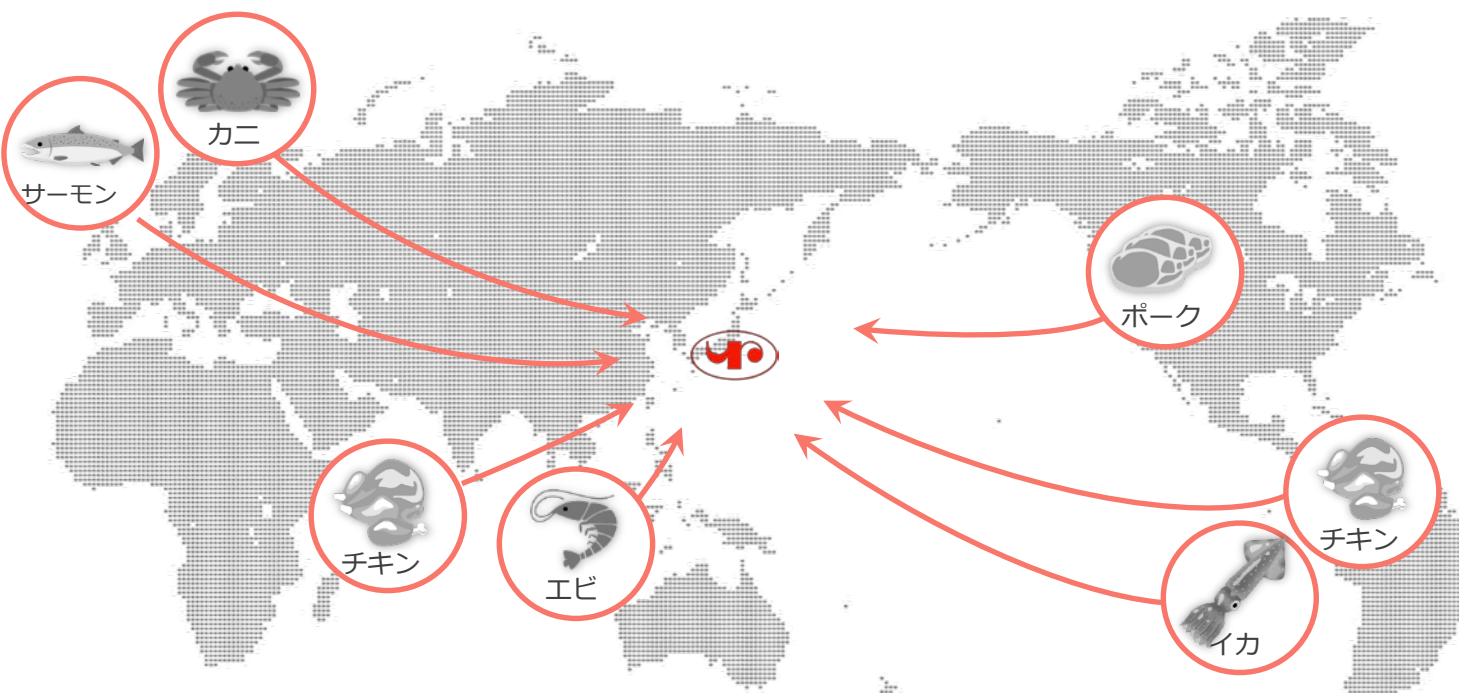
### 農産事業

- ✓ 北海道の豊かな大地が生んだ農産品を、全国各地のメーカーや卸売業者に販売



# 強み① 食品供給の国内外ネットワーク

国内外のネットワークを拡大し、高品質な食品を世界中から調達



## 仕入（輸入）

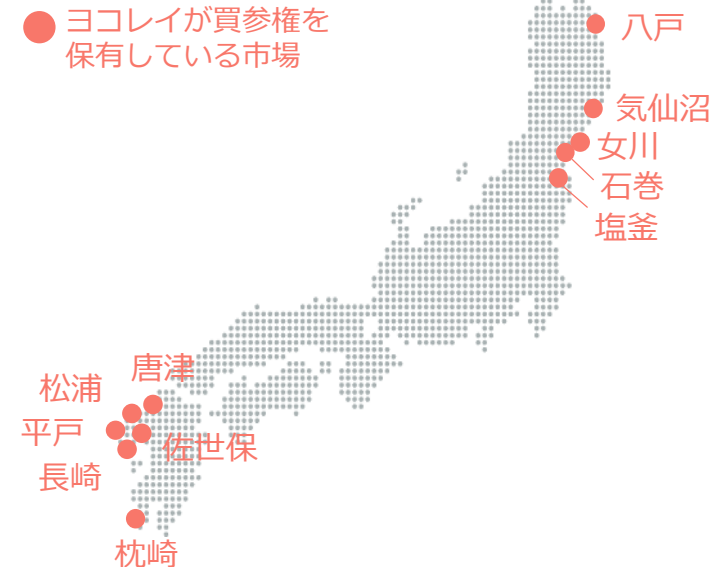
- 【北欧】 サーモン・カニ・サバ
- 【東南アジア】 エビ・チキン
- 【北南米】 ポーク・チキン・エビ・イカ

## 国内主要漁港で「買参権(\*)」を保有

(\*)市場でセリに参加することが出来る権利

上場企業で、直接買参権を持っているのは当社のみ

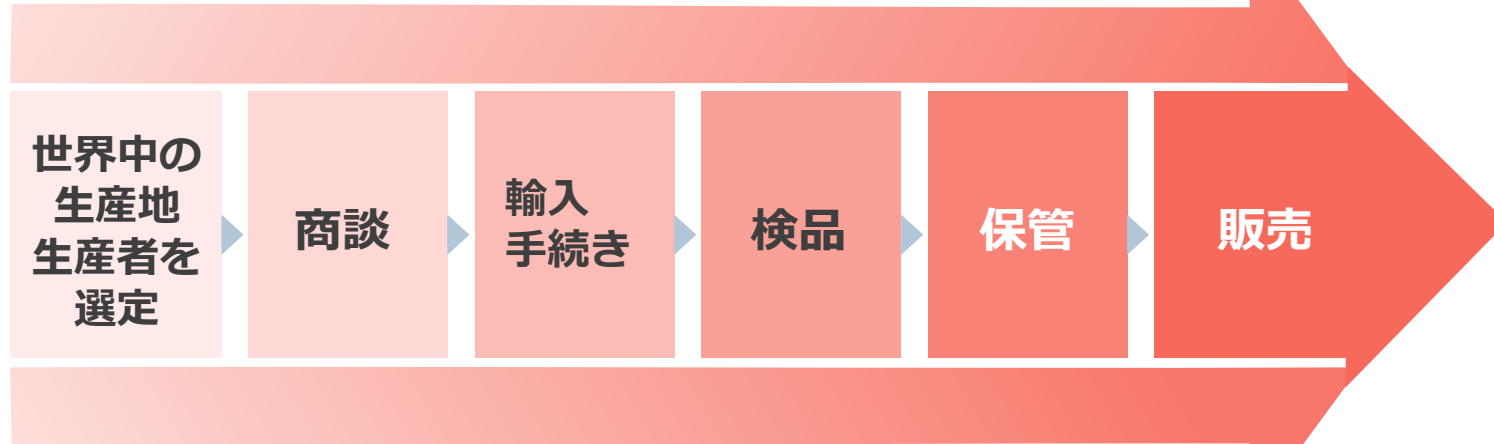
● ヨコレイが買参権を保有している市場



# 強み② 仕入れから販売までのすべての業務を自社で実施



海外から



国内から



独自の強み

\\ **一気通貫** // に対応

水産品・畜産品・農産品  
を適切な価格で、かつ安全  
性を確保して安定供給

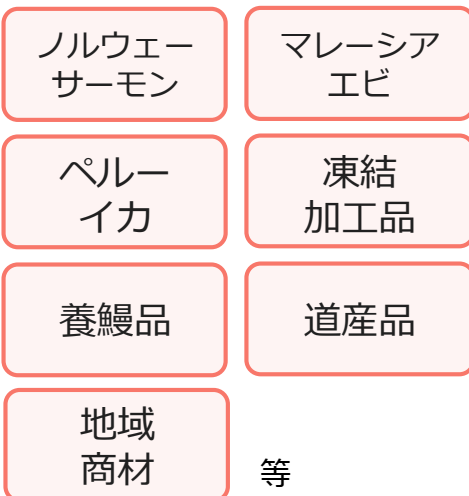
## 改革

### 収益性向上のための 構造改革

- 在庫コントロール化をはじめとした販売管理体制の見直し
- 事業所間連携の強化と拡充
- 業態別販売比率の適正化 等

### 事業品の 販売拡大

食資源の調達力を活かした  
多様な商品群を強みに  
全方位で販売拡大



## 成長

### 独自商品の開発

- 中食/量販向け
- ギフト商材開発 等

### 販売チャネルの開発

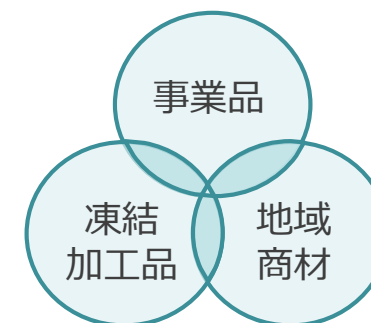
- B2C深耕  
(EC事業等)

### 海外における販路拡大

ヨコレイ ASIAN-C  
プロジェクト  
(ASEAN地区強化)

↑↓

Yokorei(Thailand)  
Co.,Ltd.



## イトーヨーカドーネットスーパーにて、ヨコレイ オリジナル商品 発売開始！

当社で商品企画・製造・販売を実施した**初の完全オリジナル 一般消費者向け販売商品**

凍ったまま、トレーのままで  
レンジ調理ができます。  
忙しい時の強い味方！  
冷凍庫の常備ストックに  
おすすめアイテム。

- 2023年11月15日より神奈川県を中心に東京を含む計36店舗が配送エリア
- 2023年8月2日より、一部の店舗でプレ販売開始



**冷凍** レンジで簡単！ 骨取り  
国産さばトマトチーズ焼 (110g)  
¥358 ¥386(税込)



**冷凍** レンジで簡単！ 骨取り  
国産さばの甘酢あんかけ (110g)  
¥358 ¥386(税込)

# 4

## 持続可能な社会へ

ーサステナビリティへの取り組みー

For the sustainable society - SDGs ACTIVITY -

### 経営理念

「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へーサステナビリティへの取り組みー
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

## 明るい食の未来へ

～ヨコレイは食の安定供給により、持続可能な社会に貢献します～

### マテリアリティ

地球環境との共生

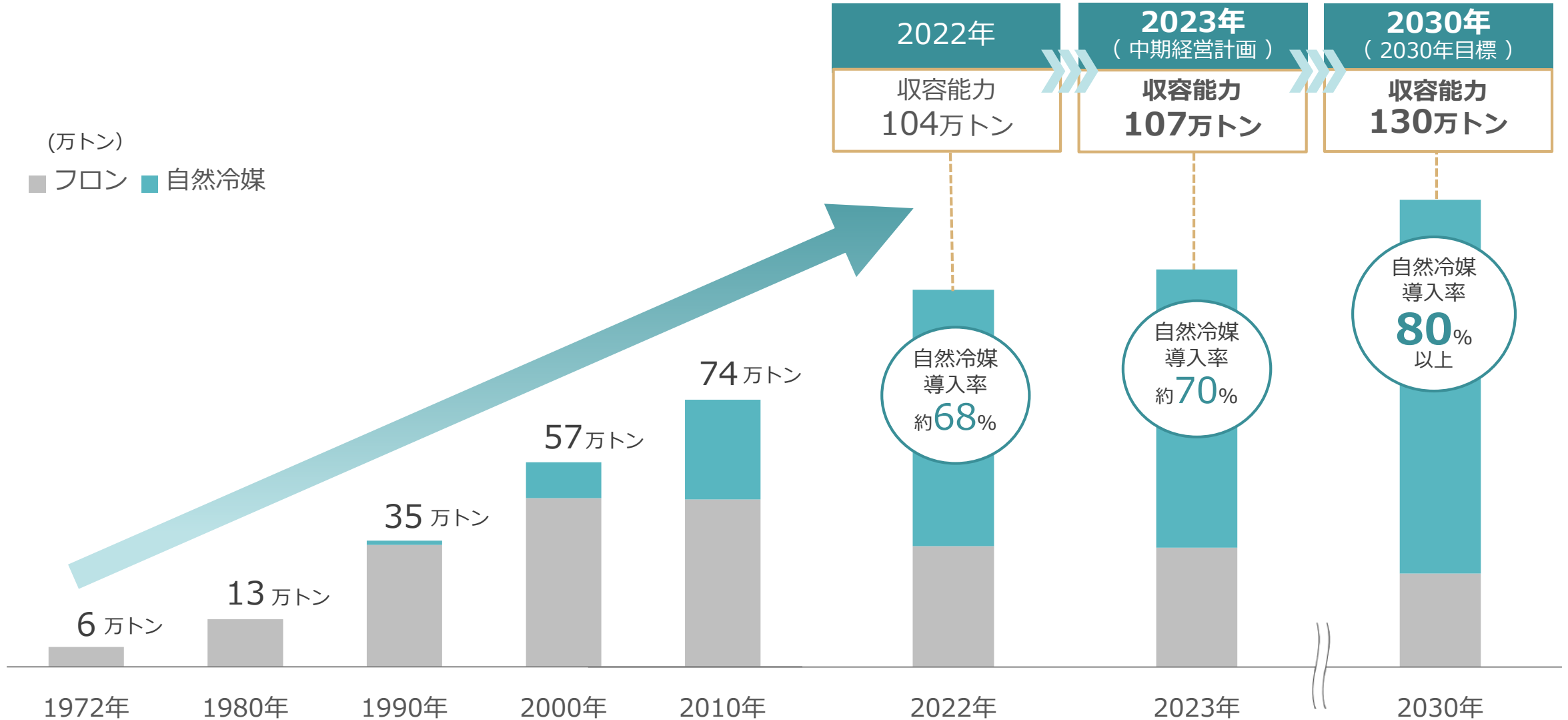
より高い品質・サービスの提供

地域社会とともに発展

働きがいのある職場づくり

経営基盤の強化・健全性の確保

# 環境配慮NO.1 冷蔵収容能力と自然冷媒の割合



# サステナビリティビジョン 2030の進捗状況

## 定量目標

		2022年 9月期	2023年 9月期	2030年
マテリアリティ		達成状況	2023年中期経営計画目標	2030年目標
①地球環境との共生	温室効果ガス排出量 (2015年比)	<b>31.0%削減</b> 収容能力あたり排出量 85kg → 58kg	30%削減	40%削減
	自然冷媒導入率	<b>68.1%</b>	70%以上	80%以上
	太陽光発電量 (2020年比)	4,244MWh → 6,710MWh (2020年) (2022年) <b>+58.1%</b>	35%アップ	発電能力 10メガワット
	太陽光発電能力	5.1メガワット → 6.5メガワット (2020年) (2022年)	7メガワット	
②働きがいのある 職場づくり	働きがいを実感している 従業員の割合(%)	<b>66.1%</b> 働きがいを感じていた25.3% やや感じていた40.8% (2022年7月 働きがいアンケート実施結果)	70%以上	80%以上
	総合職女性比率	<b>7.2%</b> 総合職883名中 男性819名 女性 64名 (2022年10月現在)	5% → 10%	女性管理職人数 2倍以上 (2020年度比)



## 環境への 取り組み

### 気候変動をはじめとする環境問題への 取り組みを積極的に推進



**TCFD** | TASK FORCE ON  
CLIMATE-RELATED  
FINANCIAL  
DISCLOSURES



「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」  
の提言へ賛同を表明  
「TCFDコンソーシアム」に加盟

## 環境への 取り組み

### 環境に配慮した冷蔵倉庫の建設



#### 太陽光発電システム

- 国内18カ所、タイ2カ所の  
冷蔵倉庫に設置



#### 自然冷媒冷凍機の導入

- 自然冷媒(アンモニア・CO2)  
の導入推進



全事業所でグリーン経営認証を取得

## 省人化 & 自動化

### 省人化・自動化システムの導入



- 作業用ロボットを使用したデバンパレタイズシステム（DPS）を導入
  - 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化



- カーゴナビゲーションシステム
  - 入出庫作業を大幅に効率化



- トラック予約受付システム
  - トラックの長時間待機問題の解決に向けた取り組み



## ダイバーシティ

### ダイバーシティへの取り組み

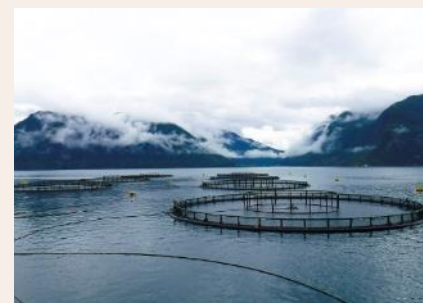


- 女性の活躍・キャリア継続を支援
- 働きやすい職場づくりの推進



## ASC・CoC 認証

### 持続可能な水産物



- ホフセスアクア社(ノルウェー) 保有の全養殖場でASC認証を取得
- CoC認証も取得し、環境と社会に配慮した持続可能な水産物の調達・供給を推進



## スポンサー活動

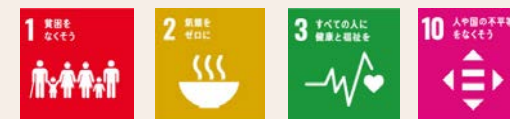
### スポンサー活動による地域貢献



- 地域スポーツクラブの支援
- 日本将棋連盟「研修会」運営の支援
- えのすいecoサポーターとして  
新江ノ島水族館の エコ活動に協賛

## 社会貢献活動

### 全国食支援活動協力会へ保管場所を提供



東京羽田物流センターで、全国食支援活動協力会のミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS) の中核ロジ拠点として保管場所の提供を開始



- MOWLSとは、全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム

#### 中核ロジ拠点



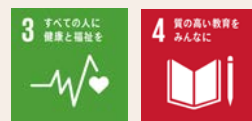
県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫

- MOWLSは支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを旨とする

## 社会貢献活動

### 寄付・協賛金による支援

#### 『Sweet heart project』への寄付・支援



- ハンディキャップを抱える人々が福祉施設でお菓子作りを行う活動を支援する団体『Sweet heart project』への寄付・支援  
このお菓子を当社のイベントやお客様へのお土産として活用することで同活動を応援



ESG（環境・社会・ガバナンス）投資の指数である「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄選定  
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄にも継続選定



**FTSE Blossom  
Japan Index**



**FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index**

# 5

## 株主還元について

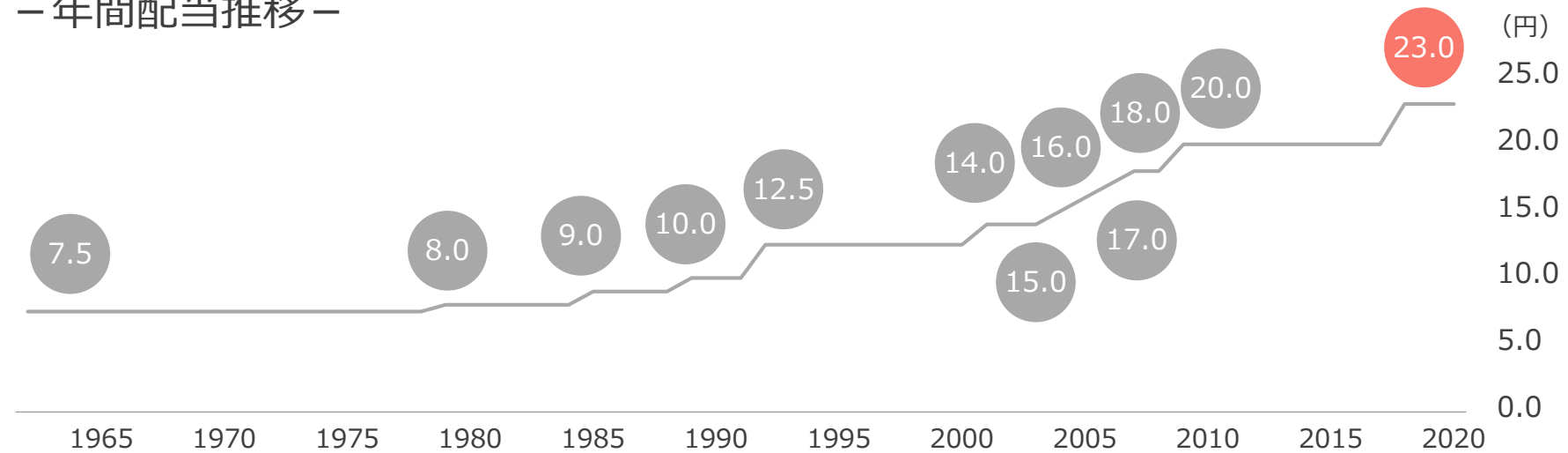
Shareholder return policy

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

基本方針

着実な成長と長期安定配当

－年間配当推移－



1962年の東証二部上場以来、半世紀以上増配を継続

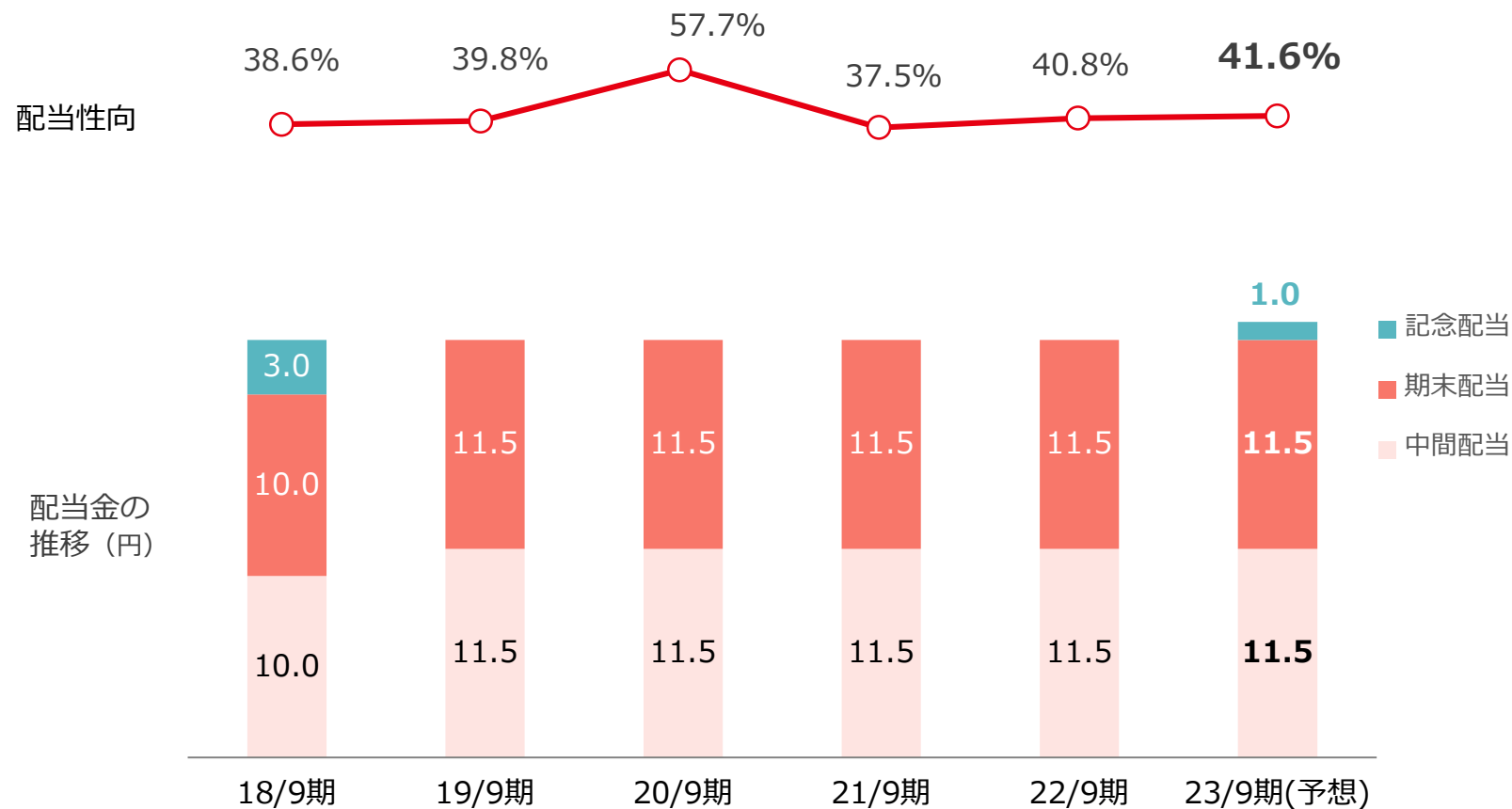
23年期末に+1.0円の  
創立75周年記念配当を  
実施予定

22/9期 年間 **23円**



23/9期 年間 **24円**

－ 1株当たり配当金と配当性向の推移 －



## －株主優待－（2022年9月期実績）

1,000株以上～3,000株未満  
1年以上継続保有の株主様

### 【ノルウェー産 サーモントラウト製品詰合せ】

- －サーモントラウト切身（骨抜き）  
食べ比べ  
無塩・定塩・粕漬け・西京味噌漬け  
（3切240g×各1パック）
- －スモークサーモン（50g×3パック）



3,000株以上  
1年以上継続保有の株主様

### 【北海道産ホタテ・イクラセット】

- －特選イクラ醤油漬け（鮭卵500g）
- －生食用ホタテ貝柱  
（Lもしくは2Lサイズ1,000g）



100株以上  
保有の株主様

### 【株主様向け ECサイトでの購入権】

- －左記優待品2種等を株主様向け  
ECサイトにてご購入可能



株主優待の詳細については  
こちらから



# 6

## 本日のまとめ

SUMMARY

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料

# 食品流通のエキスパート

お客様の大切な貨物を守り、世界中の食材を安定供給し、  
日本の食の安全・安心を今後もつないでいきます



長期安定配当と充実の株主優待で株主様へ還元



安定した冷蔵倉庫事業と調達力に優れた食品販売事業で持続的に成長



# 7

## 資料

SOURCE BOOK

1. ヨコレイの概要
2. 冷蔵倉庫事業
3. 食品販売事業
4. 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
5. 株主還元について
6. 本日のまとめ
7. 資料



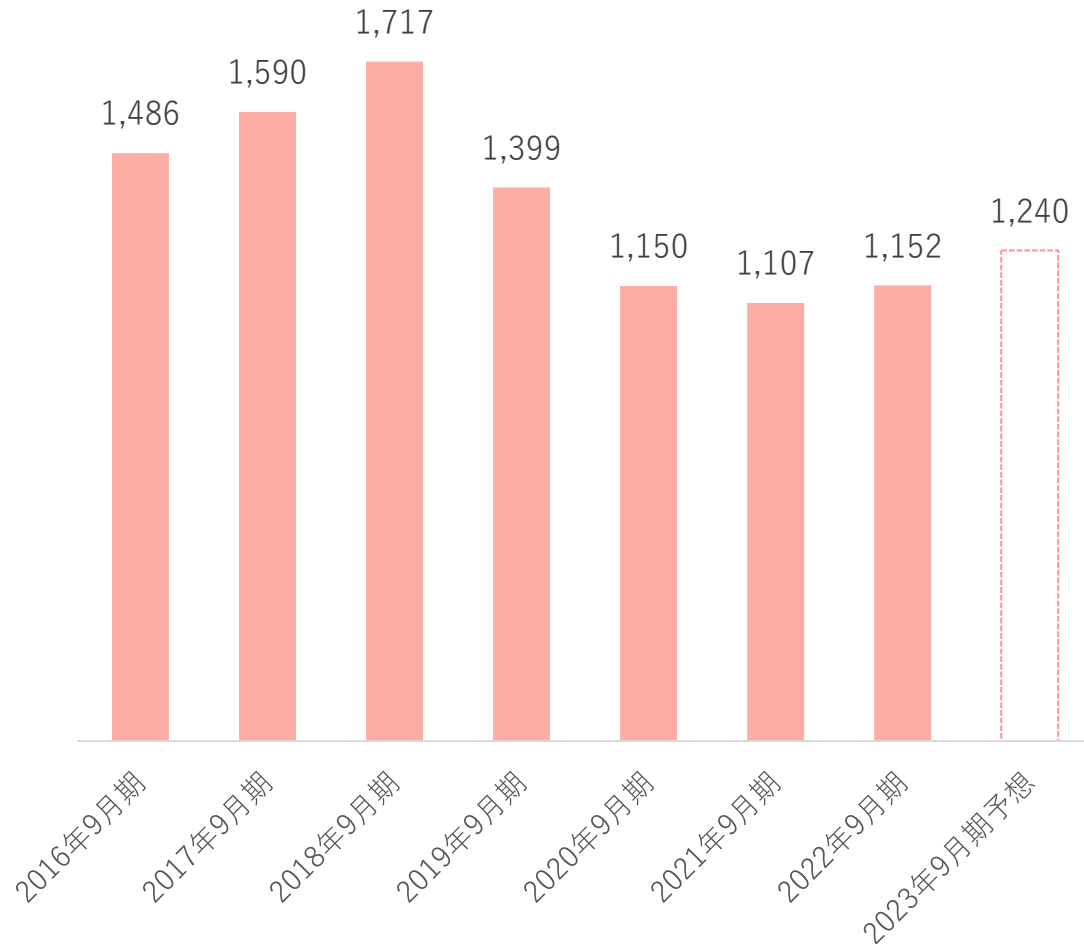
ヨコレイ本社 (横浜コネクトスクエア)

会社名	横浜冷凍株式会社
本社所在地	横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア10F
設立	1948年5月13日
代表者	代表取締役会長 吉川俊雄 代表取締役社長 松原弘幸
資本金	14,303百万円
事業拠点	冷蔵倉庫事業 国内50 海外5 食品販売事業 国内25 海外1
従業員数	連結 1,620名 単体 1,296名
上場証券取引所	東証プライム (証券コード 2874)

※2023年3月31日現在

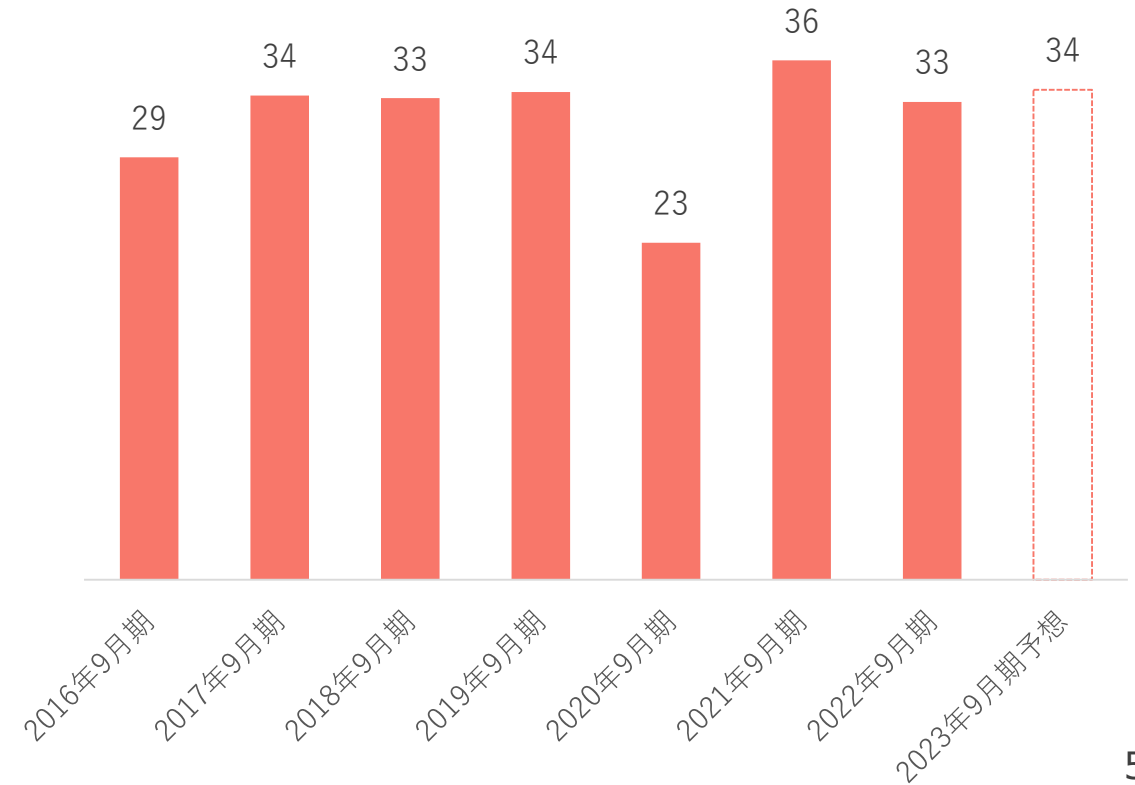
## 売上高推移

(単位：億円)



## 当期純利益推移

(単位：億円)



# 2023年9月期 通期業績予想

(中期経営計画最終年度)

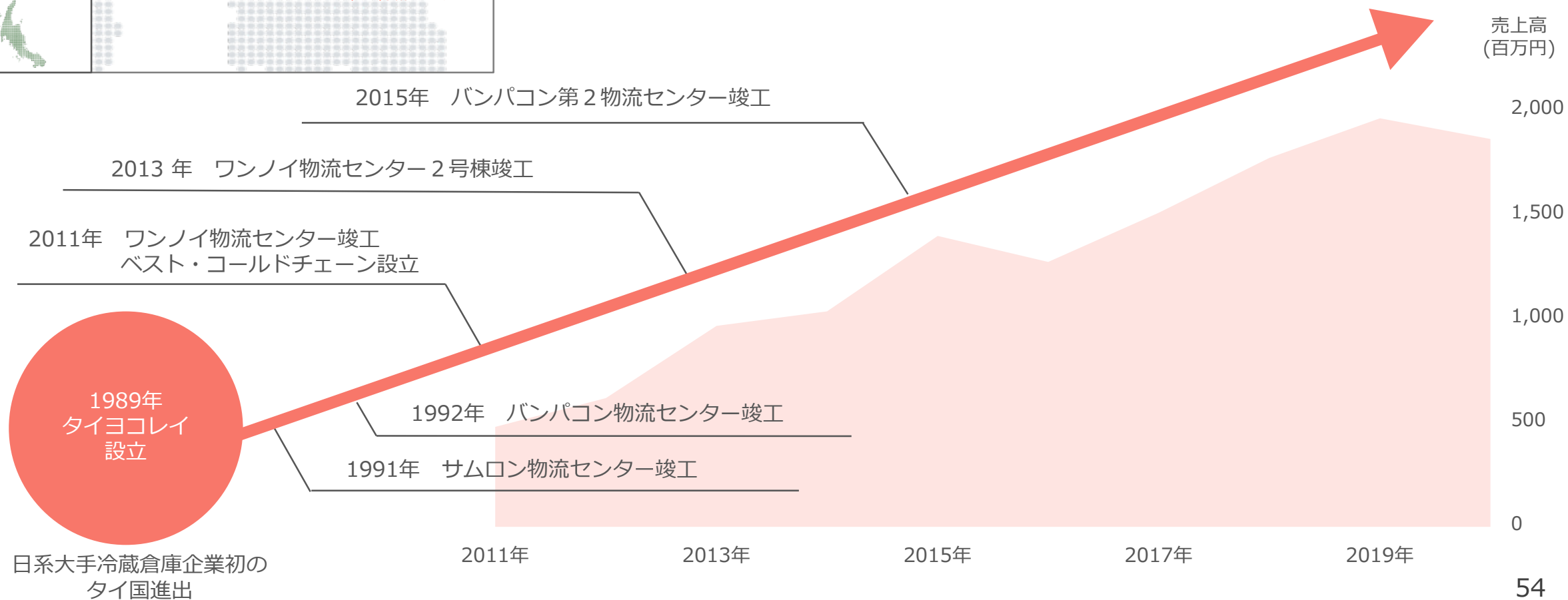
(単位:百万円)		2022年9月期 通期実績	2023年9月期 通期予想	前期比	
				増減額	増減率
売上高	冷蔵倉庫事業	30,045	<b>30,500</b>	455	1.5%
	食品販売事業	85,157	<b>93,500</b>	8,343	9.8%
	売上高	115,257	<b>124,000</b>	8,743	7.6%
営業利益	冷蔵倉庫事業	6,447	<b>6,700</b>	253	3.9%
	食品販売事業	1,324	<b>1,850</b>	526	39.7%
	配賦不能費用	3,567	<b>3,550</b>	31	0.9%
	営業利益 (営業利益率)	4,252 (3.7%)	<b>5,000 (4.0%)</b>	748 (+0.3pt)	17.6%
経常利益 (経常利益率)		4,999 (4.3%)	<b>5,200 (4.2%)</b>	201 (△0.1pt)	4.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)		3,317 (2.9%)	<b>3,400 (2.7%)</b>	83 (△0.2pt)	2.5%
減価償却費		6,413	<b>6,540</b>	126	2.0%

# タイヨコレイの概要 – タイで躍進する国際低温物流ビジネス –



同国内の総収容能力 約10万トン

 **タイ国内 No. 1**



証券コード	2874
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
発行済株式総数	59,266,684株
時価総額	52,213百万円
1単元の株式数	100株
株主数	15,682名
格付情報	日本格付研究所 長期 A-
事業年度	10月1日より9月30日まで
定時株主総会	12月
株主総会議決権基準日	9月30日
中間配当基準日	3月31日
期末配当(優待品)基準日	9月30日

大株主名	持株数 (千株)	持株 比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,092	10.30
株式会社松岡	2,569	4.34
第一生命保険株式会社	2,205	3.73
株式会社横浜銀行	2,176	3.68
農林中央金庫	1,473	2.49
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,468	2.48
株式会社八丁幸	1,411	2.38
横浜冷凍従業員持株会	1,249	2.11

※持株比率は自己株式(143,936株)を控除して計算しております  
 ※2022年9月30日現在





— 「人」「もの」「地球」に優しい食品流通のエキスパート —

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解ください。

当社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転載等を行うことを禁止します。



◀ 横浜冷凍(株)ホームページは  
こちらをスキャン

## お問い合わせ先

横浜冷凍株式会社 広報 I R 部

TEL: 045-210-0011

E-mail: [info@yokorei.co.jp](mailto:info@yokorei.co.jp)

URL : <https://www.yokorei.co.jp/>